

- ・二つの中国認識 –吉野作造と内藤湖南– 朱 琳敏
- ・吉野作造と朝鮮問題 –日韓併合前後から三・一独立運動までを中心として– 中村 敏

『吉野作造研究』第8号（2012年5月）

- ・大正の「開国」と吉野作造 –国をひらくこと、社会をひらくこと– 莢部 直
- ・吉野作造における維新と「公道」 小川原正道
- ・吉野作造の体制改革論の特徴 –貴族院・枢密院改革論の変遷– 手嶋 泰伸
- ・グローバル時代における大学の行方を問う 上山 隆大

『吉野作造研究』第9号（2013年4月）

- ・新しい公共と熟議デモクラシー –吉野作造に学ぶ– 千葉 真
- ・政党内閣制と吉野作造 –デモクラシーをささえるもの– 村井 良太
- ・幕末における共和制・大統領制・民主主義の理解 大川 真*
- ・佐渡島の二人の政治家と敗戦後日本 –有田八郎と北畠吉– 竹内 洋
- ・吉野作造のハイレベルクでの下宿先 竹中 英俊
- ・吉野信次の思想形成 –旧制第一高等学校時代を中心に– 小嶋 翔*
- ・吉野信次の商工政策 –政策思想の連続性と非連続性 – 石澤 理如*

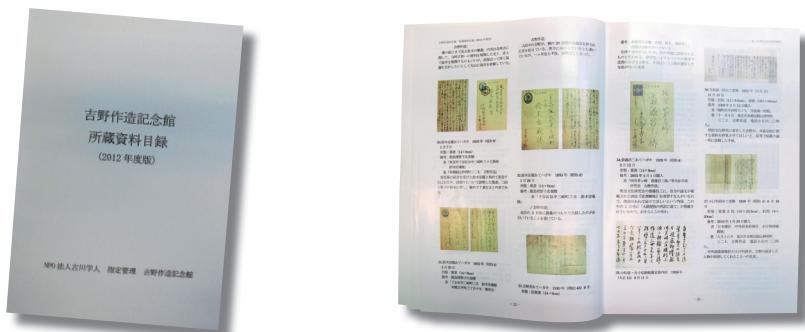
『吉野作造研究』第10号（2013年4月）

- ・明治文化研究の三博士 –『西哲夢物語』をめぐって– 堅田 剛
- ・学都仙台と中国人留学生 永田 英明
- ・綿業が紡ぐ世界史 –日本郵船のボンベイ航路– 秋田 茂
- ・デモクラットであることの意味 –大正デモクラシーと戦後民主主義– 趙星銀
- ・「政治」をめぐる闘争 –「民主主義=永久革命」と吉野作造 – 佐藤太久磨
- ・吉野作造記念館所蔵吉野作造発信書簡 佐藤 弘幸*

*記念館学芸員・研究員

火 『吉野作造記念館所蔵資料目録』

当館開館以来、多岐にわたる所蔵資料全体を網羅した目録が求められてきました。NPO法人古川学人では管理受託以来、所蔵資料目録の刊行による当館資料を活用した一層の吉野作造研究の進展を期し、製作作業を進めてまいりました。2013年春、『吉野作造記念館所蔵資料目録（2012年度版）』が完成しました。資料種別ごとに分類されたリストの他、吉野作造遺品・直筆資料など特に貴重な資料130点をカラー写真付きで掲載しています。



- ・『吉野作造研究（吉野作造記念館研究紀要）』創刊号～第10号 各1,000円（税込）
 - ・『吉野作造記念館所蔵資料目録（2012年度版）』 2,000円（税込）
- 詳しくは吉野作造記念館までお問い合わせ下さい。